

稲敷すごいぞ ちょっと聞いてよ あんなこと こんなこと 稲敷じまん！

本校の3年生は、地域学習として総合的な学習の時間に「稲敷市の作物」について調べることになりました。

知りたいことが分からない？！

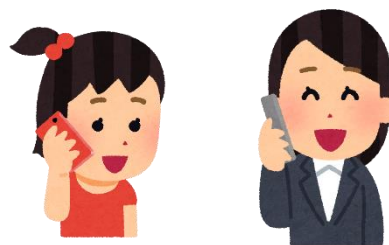


稲敷市の作物について知りたいことを考えました。社会科の「わたしたちの稲敷」やタブレットで調べてみるとどんなものが育てられているのかが分かりました。しかし、それぞれの作物についてくわしく調べようとする、HPに書いてある説明文は、大人向けであまりよく分からず…。図書室の本で調べようとしても、そのような本が見つからず……。社会科の副読本の「わたしたちの稲敷」で調べても、自分たちの知りたい情報のすべてを集めることができず……。

だったら、聞いてみよう！

八方塞がりになってしまった、3年生。すると、稲敷市の作物に詳しい人に聞くことを思いつきました。そこで、JA 稲敷で働く方たちにインタビューをすることにしました。

電話でアポイントをとろう！



アポイントメントを取るために、電話をすることにしました。失礼なく、要件を伝えるための台本を自分たちで考え、実際にかけてみました。すると、インタビューだけでなく、沼里集荷場を見学してもよいとの返事がもらえました！

沼里集荷場を見学しよう！

沼里集荷場を訪れると、JA 稲敷の方たちが優しく、ていねいにインタビューに答えてくれました。子どもたちも自分たちの疑問が解けてスッキリした様子でした。

施設見学後、なんと稲敷市の作物の一つであるスイカ実食のサプライズが！

とっても甘いスイカに大満足な子どもたちでした。帰り際、自分たちでも稲敷市の作物を育てられるかを質問したところ、スイカを育てるお手伝いをしていただけることになりました。

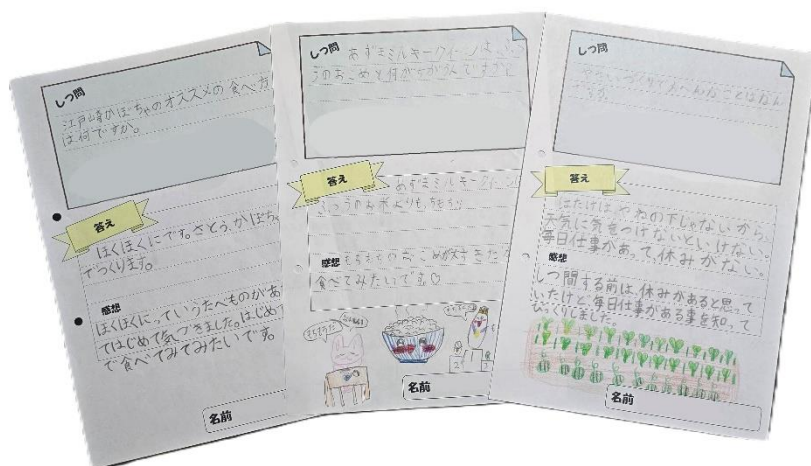


【子どもたちの感想】

- ・ JAの人たちが、どんな仕事をしてきているのかがよく分かりました。毎日たくさんの仕事をしていて、たいへんだなと思いました。
- ・ なえをつくるのがそんなにむずかしいなんて、はじめてしました。
- ・ あずまブロッコリーは田んぼで作られていることにびっくりしました。
- ・ お米を作るのにたくさんの時間がかかることにおどろきました。
- ・ いちばん大きなえどさきかぼちゃが3～4キロとすごく大きくておどろきました。
- ・ スイカがおいしかったです。JAの人たちの話を聞いて、ぼくたちにも作れるんだと思いました。作るのが楽しみです！

分かったことをまとめよう！

JA 稲敷の方たちが教えてくれたことを基に、分かったことをパンフレットにまとめました。「大変な仕事は何か?」、「あずまミルキークイーンと普通のお米はどこがちがうのか?」など、自分の知りたかったことをQ&A形式でまとめることができました。また、一人一人、稲敷市の作物をモチーフにした表紙を作成し、1冊のパンフレットが完成しました。



スイカを育てよう！

JA 稲敷と農家の方が学校へ訪問してくださり、畑の準備を一緒にしてくれました。

暑さに負けず、土に水をあげたり、トンボでならしたり、ビニールをはったりしました。

一人一粒、種をもらい、種まきをしました。

数日後の休み時間。「先生、芽が出ている！」と嬉しそうに走って報告してくれました。

スイカの実ができ始めたら、スイカの実をコロコロ転がして、お日様がまんべんなく当たるようにしていました。



収穫の時期が近づいてきました！

収穫したスイカをどうしたいかについて、クラスで話し合いました。

すると「お世話になった JA 稲敷や農家の方へごちそうしたい」という意見が多く出ました。そこで、JA 稲敷や農家の方を招待して「スイカパーティー」を開くことに決定しました。

スイカパーティーの準備をしよう！

料理担当・飾りつけ担当・招待状、感謝状担当に分かれて、準備をします。

料理担当は、何の料理でおもてなしをするかを決めています。

どうやら、スイカをくり抜いて「フルーツポンチ」を作るようです。

その後も、料理の手順、必要なものなどをタブレットで調べていました。

飾りつけ担当は、さっそく折り紙で飾りを作りはじめました。

パーティー定番の輪飾り！みんなで力を合わせて作ったため、すご〜く長いですね！

かわいらしいスイカの飾りも作ってくれました。

招待状、感謝状担当は、どんな文面にするかを悩んでいるようです。

お世話になった人たちが気持ちよく来てくれて招待状を…。

「ありがとう」の気持ちを伝えられるような感謝状を…。

出来上がりが楽しみです。



いよいよスイカパーティー当日！

1時間目から準備開始。

料理担当はせっせとスイカをくり抜いていきます。

赤く熟したスイカ。あま〜い、いい香りがしますね！

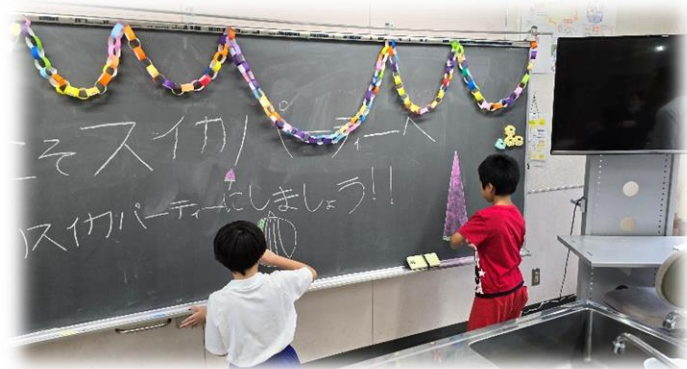
飾りつけ担当は、家庭科室全体を飾り付けていきます。

椅子を持ってきて、高いところまで飾り付けます。

黒板の飾り付けにも手を抜きません！

招待状、感謝状担当は、司会進行と感謝状贈呈の練習に励みます。

本番にしっかりと役目を果たせるよう、何度も何度もリハーサルをしていました。



準備も終わって、農協や農家の方たちが到着しました。
パーティー開始です！

家庭科室がパーティーの名にふさわしく、素敵に飾り付けられています！

たくさん練習した甲斐もあり、気持ちを込めて感謝状を渡すことができました。

みんなが楽しみにしていたフルーツポンチ。スイカの甘さと炭酸のさっぱりさがベストマッチ！何回もおかわりする人が続出しました。

農協や農家の方たちから「招待してくれてすごくうれしかったです。」や「感謝状、大切にします。」「がんばって飾りつけてくれたんだね。」「フルーツポンチ、おいしかったです。」など、たくさん褒めてもらえました。

お土産として、自分たちで作ったパンフレットをプレゼントしました。



【子どもたちの感想】

- ・ 飾りつけが終わっていない人を終わった人が助けて、みんなで協力してがんばって作ることができました。
- ・ スイカを丸くくりぬけるようがんばりました。農協や農家の人たちがよろこんでくれて、うれしかったです。
- ・ 大へんだったけど、みんなといっしょに楽しめてとってもうれしかったです。
- ・ たくさん練習したから、感しゃじょうをちゃんとわたすことができました！
- ・ じゅんびがとてもむずかしかったけれど、みんなで協力しあったから、楽しかったです。
- ・ 大きな声で感しゃじょうをわたすことができました！



まとめ

今年度は、フィールドワークを中心に、地域の方と関わりながら稲敷市の作物についてたくさん知ることができました。

社会科で稲敷市の人口が減少していることを知ると、「このままでは自分たちのふるさとがなくなってしまうかもしれないから、大人になってもすみつづけ、ぼくたちが守る！」という振り返りをする子どもたちがいました。

これも、地域学習を通して、自分たちのふるさとのよさを知り、好きになった子どもがたくさんいたからこそだと思えます。

これからもふるさとを大切にし、自分たちで考えて、できることを実行する児童の育成を目指していきます。